

第4学年 総合的な学習の時間 単元計画(例)

〇〇市(町)立〇〇小学校

単元名	菊池の環境を守り、よりよい菊池を作っていこう		探究課題	菊池の環境と保全に関わる人々				
単元目標	自分たちが住む菊池の環境のすばらしさを知り、その環境を守るとともに住みやすい菊池づくりに関わる人々の工夫や努力を知ることを通して、郷土を愛し、郷土に貢献する態度を育成する。							
単元の展開例								
小単元 時数	小単元1 16時間	～菊池の環境のすばらしさ～	小単元2 16時間	～菊池の環境問題～	小単元3 24時間	～菊池に貢献する人々～	小単元4 14時間	～周りに貢献する自分～
探究課題	菊池のすばらしい環境について		菊池が抱える環境問題と、その解消に取り組む人々について		菊池の環境問題に取り組む人々の工夫や努力について～学習発表会に向けて～		周りにの人たちに、自分が貢献できること～2分の1成人式に向けて～	
学習過程	〇一人一人が菊池の環境のすばらしいところを出し合いながら、自分たちが住む菊池の良さについて関心をもち、 ※3年時の学習「菊池の自然とそれを守る人々」を想起させる。		〇身近な環境に関する気づきや、自分が知っている環境問題を出し合いながら、菊池の環境にはどんな問題があるのか出し合う。 ※場所や内容別に予想をしながら、話し合わせる。		〇菊池のすばらしい環境や、そこにある環境問題、そして、その環境問題に取り組む人たちのことをどのように伝えていくか考えを出し合う。 ※小単元2の班ごとに、話し合いをさせる。		〇日常生活を振り返り、総合的な学習や学校で学んでいることを通じて、自分が周りの人のためにできることは何かを考える。 ※個別に考えさせる。身近なちょっとしたことであっても、それがどのように役に立つのかを予測を立てて考えさせる。	
課題の設定	〇学級・学年以外の人たちが考える菊池の環境の良さについて情報を集める。 〇菊池の良い環境のポイントについて、詳しい情報を集める。 ※情報を集める方法について考え、役割分担をさせる。		〇ゲストティーチャーを招き、菊池の環境に関する課題や取組について聞く。 〇さらに知りたいと思ったことをもとに班を作り、さらに情報を収集する。 ※情報を集める方法について考え、役割分担をさせる。		〇関わる人について、さらに必要な情報の収集を行う。 〇学習発表会での発表を前提に伝え方を話し合い決める。(班一全体で統一) ※学習発表会での発表方法、必要なもの等についてもまとめる。		〇自分たちにできること、できそうなことを班で出し合い、周りにのために実際にどんなことができて、それがどのような貢献につながるのかを話し合う。 ※お互いの考えを出し合いながら、多面的に検討させる。(対話的な学び)	
探究情報の収集	〇菊池の良さをポイントごとに整理する中で、それぞれが良さがばかりでなく問題点を抱えていることに気付く。 ※インターネットによって画像なども調べさせる。		〇場所や内容ごとに情報を整理し、それぞれの場所や環境問題には、それに取り組んでいる人々がいることを知る。		〇班ごとに発表する内容をまとめ、学習発表会に向けて発表の準備を行う。		〇自分が周りにのために貢献できることを、作文にまとめる。 ※必要に応じて個別に面談しながら、できることをまとめる。 ※貢献に大小はなく、貢献する気持ちや取り組む中での工夫や努力が大切であることを伝える。	
学整理・分析	〇菊池のすばらしい環境は、その破壊につながる問題も抱えていることに気付く、次の学習計画を立てる。		〇菊池のために課題に向き合い、取り組む人があることに気づき、次の学習計画を立てる。		〇学習発表会で発表を行う。 ※振り返りに向けて、見てくださった保護者や地域の方の感想を求める。		〇2分の1成人式で発表する。 ※振り返りに向けて、見てくださった保護者の方の感想を求め、家族の成長の喜びが、児童の自己肯定感の高まりや、家族をはじめとする周りに人への感謝につながるようにする。	
過程 まとめ・表現	〇菊池の環境を保つためには、菊池の環境の良さを詳しく知ることが大切だと分かった。 〇菊池の良さとともに、問題点を周りに人にも知らせていきたい。		〇菊池には実際に環境問題があり、環境問題は身近なものであることが実際に分かった。 〇そうした環境問題の内容や、関わる人たちの努力を伝えたい。		〇自分たちが住む菊池には、多くの人が菊池のために工夫や努力をして、貢献していることがわかった。 〇調べたり、準備するのは大変だったけど、発表を聞いて喜んでもらったり、菊池の良さを分かってもらえて良かった。		〇今まで見えなかった人に支えられて、菊池で暮らしていることがわかった。 〇自分にできることをしっかりやるのが、周りの喜びにつながるということがわかった。 〇他にも、菊池のために貢献している人のことを知りたくなった。	
振り返り								

【単元計画について】
単元計画とは、課題の解決や探究的な学習が発展的に繰り返される一連の学習活動のまとまりである単元についての指導計画である。単元は、目標を実現するにふさわしい探究課題及び探究課題の解決を通して**育成を目指す具体的な資質・能力をよりどころとして**計画され、実施される。
作成に当たっては、**前年度に教育課程の見直しを行っておくことが必要**である。前年度の学習活動の様子と、校内をはじめとする当該学年の過去の実践事例を基に、全体計画を参照し、学習活動や育成を目指す資質・能力の実現を中心に計画を立案し、**見直しをもって4月を迎えることが大切**である。年間指導計画と単元計画は相互に関連しており、その作成作業の実際においては、両者を常に視野に入れ、それぞれの計画を作成することが大切である。(解説 P92)

【小単元の連続性について】
例は、小単元1から4まで、連続性をもった学習計画を、児童の意識や活動の向かう展開を予測しながら計画されている。このように、単元の探究課題を小単元で構成し、学びが間いで繋がっていくことが望ましい。
しかし、学校によっては小単元のすべてが連続性をもった内容とはなりにくい場合もある。小単元1が終われば小単元2へというように明確な順序性を伴わず、学校・学年行事等との関連によって、2つの小単元を同時進行させる場合もあることが考えられる。
そうした場合は、学年を通した単元ではなく、学年のテーマとして学びの統一感をもたせ、複数の単元とその中の小単元として構成することも考えられる。その場合においても、全体計画や年間指導計画と構成上の整合性をもたせることや、学年で育成する資質・能力に見合う探究的な学習過程を計画することが必要である。

【単元構成に当たっての留意点】(解説P102・103)
〇学習の展開における児童の意識や活動の向かう方向を的確に予測すること。
→児童の立場で考える・複数の教師で予測し、意見の相違点は慎重に検討する・可能な限り具体的に即して検討する
〇十分な教材研究を行うこと。

次学年へ(第5学年)